

## たそがれ について

自作曲のCDをつくろうと最初に考えたのは2000年のことだった。50歳になる前年のことだ。過去に作った曲を含め、新しく作る曲の構想はできたが、転職が重なり中途半端なままとなった。このCD制作が再燃したのは2010年の11月でちょうど60歳になる前の年だった。2011年度は古い曲の選曲とアレンジ、新曲づくりと何かと忙しかったが、候補として娘からもらった曲を含め15曲程度の中から10曲に絞り込んだ。

タイトルにした「たそがれ」は50歳の時も同じタイトルを考えていて、今回と同じようにタイトル曲を作っていたが、歌詞、曲調ともに今回の曲とは全く異なる。同じなのは状況設定だけ。人生のたそがれ時をイメージしたのだが…CDのイラストは娘の作。

夕陽を見ているのは老人のイメージで頼んだのだが、できてきたのは天使？

選曲と共に悩んだのは曲順だが、18の時に京都へ出てきたころに考えていたようなことからだんだんと年を取ってといったイメージで決めた。60歳の間に仕上げたかったのだが、録音を予定していた正月休みに悪性の風邪でのどをやられ、半年ほど歌が歌えなかった。録音を再開したのが2012年の6月で、約2か月かけて録音。CD化のための音質調整に結構手間取った。結局発案から2年以上もかかったことになる。アレンジは自分なりにある程度満足しているが、ボーカルは疑問符が付く。全体の満足度は75%くらいか？ただ満足いくものを作ろうとするとたぶん永久にできないと思うので、残りの25%は次回作で、ということにしたい。

それで、次回のテーマは…「夏への扉」原題:The door into summer

ハインライン作のタイムトラベルものSFの最高傑作(と思う)。20年以上前からこの小説に関連した曲を作りたいかったのだが、この小説を題材にした曲は山下達郎に先を越されてしまった。1979～1982までに発表されているらしい。2002年2月発売の「RIDE ON TIME」というアルバムにも収録されている。古いノートを見ているとFly Highを作った頃にも「The door into Summer」というフレーズを入れた曲を作っていたが、楽譜が残っていないのでたぶん未完成に終わったのだろう。これが1993年ごろなのでかなり先を越されている。次回作で山下達郎超えを果たそう。

## Memoriesについて

最初は「たそがれ」1枚のはずだったが、昨年夏に古いカセットテープを整理していたら、20代の時に録音していたテープが意外といい音で残っていたのでこれを残しておくことにした。結婚前に「ORO」というバンド名で2回コンサートを開いたが、2回目のコンサートの録音は1曲しか残っていないので、今回は1回目のコンサートの中から6曲と自宅録音していたもの4曲、その他「たそがれ」に収録したFly Highという曲を作曲直後にエレクトーンで演奏してもらったもの、クラシックギターでYesterdayを収録した。ミスっているものも含め、結構思い出に残っているものばかりだ。特に自宅録音のものは結婚直前の録音で、その後「Fly High！」まで約15年歌から遠ざかっている。それでは次回作までしばらくの休みを…

2013年2月15日 広田知紀

海の向こうへ

作詞・作曲： 広田聡美

青くただよう 波のしぶきに魅せられ  
海の向こうの土地にあこがれ夢を見る  
空色の草原 かけぬけるかおり  
夢をのせた船は 海へかけてく

空色の草原 かけていけたら遠い  
新たな世界に 夢を見れるね きっと

輝く陽射し まぶしさに目を閉じれば  
海のかおりが やさしくほほをなでてく  
あの頃夢見た空色の国は  
雲の中に輝き 空に抜けてく

空色の草原 かけていけたら もう  
一度 あの頃の夢を見れるね きっと

娘が中学生の時に作った曲でたぶん彼女の初めての曲。いつか歌ってみたいと思っていたが機会がなかった。ようやく念願かないこのアルバムの最初の曲として選択。娘のオリジナルのアレンジにドラム系を強化し、プラスを追加した。

Fly High !

作詞・作曲： 広田知紀

朝の光 体いっぱい浴びながら  
君は青く広がる大空 飛び立とうとしてる  
昨日がよかったなんて思わないで  
君の瞳に映るのは 大きく羽ばたく明日の姿  
ほんの少しの努力と  
ほんの小さな勇気さえあれば出来るはず

Fly High!! 高く舞い上がれ!!

Fly High!! Catch your future vision!!

君のそんな生き方にあこがれて  
緑あふれる大地を 僕らは走り出す  
明日への想い記した地図を片手に  
僕らは夢を語る仲間を 探し続けたい  
いつかどこかに 置き忘れてしまった  
心の輝き取り戻すため

Try hard!! 走りぬくんだ

Try hard!! Spread our burning passion!!

ほんの少しの努力と  
ほんの小さな勇気さえあれば出来るはず  
Fly High!! 高く舞い上がれ!!  
Fly High!! Catch your future vision!!

以前勤めていた会社が1988年に当時の流行に乗って社名変更をした。その後1993年に社名変更のキャンペーンソングを作ろうということになって社内募集があり10数年ぶりに書いたのがこの曲。オリジナル曲や替え歌も含め30件近くの応募があったようだが、この曲が30名の審査員のうち29票を集めてキャンペーンソングとして採用された。

作曲したときに今のようなコンピュータの環境があったらどんなアレンジにしていたらう?

古い考えや習慣にとらわれていては新しいことなんかできない。目標に向かって頑張ろうという気持ちを込めたつもり。

きまま

作詞・作曲：広田聡美

長く続いた雨の季節もう終わり  
起きたばかりの太陽の光がやさしい  
いつか二人で歩いた  
海に見える坂路を一人歩いて  
ふと見上げた空に君の姿を重ねた  
気まぐれでわがままな君だけ  
僕は知ってるよ  
ホントはやさしいってことも  
周りが思うほど強くないことも

君が隠した声をどうか僕には聞かせて  
気兼ねなくぶつけてきなよ  
自由な君のことが僕は好きなんだ

気まぐれでわがままな君だけ  
僕は知ってるよ  
ホントはやさしいってことも  
周りが思うほど強くないことも  
いつかした約束を君は覚えてるかな？

僕が君のそばにいていつまでも君を守り続けるから  
君は僕のそばにいてありのままの君を僕に見せてほしい  
多分忘れたんだろうな  
だけど僕が覚えているからまあいいか

このCDを作るということを娘と話をしていた後に娘が持ってきてくれた。このCDのために作ってくれた(と思っている)アレンジは娘がフォークギターをイメージして作っている。弾いたことがないにしてはよくできている。いつか弾き語りをしてみたいと考えている。

思い出にありがとう

作詞・作曲：広田知紀

突然舞い込んできた 君からの手紙  
封を切る僕の指先が 心なしか震えてる  
白い便箋に青いインクで鮮やかに  
「結婚」という二文字が 浮かび上がってる  
いつかこんな日が来ることは  
わかっていたはずなのに  
「おめでとう」という一言が  
なぜか出てこない

白いドレスの君が 僕の前に立つ  
僕は君への言葉みつからず  
ただ黙って君を見る  
君と作った色々な出来事が頭駆け巡る  
でも僕の気持ちやっぱり素直に伝え切れはしない

いつかこんな日が来ることは  
わかっていたはずなのに  
「おめでとう」という一言が  
なぜか出てこない

いつかこんな日が来ることは  
わかっていたはずなのに  
「おめでとう」という一言が なぜか出てこない  
でも「おめでとう」じゃ今の僕の気持ち  
素直に言い表してはいない

僕が本当に君に伝えたいのは  
「ありがとう」の一言

今、君が残してくれた素敵な思い出に  
心から、心から「ありがとう」

娘が結婚する時をイメージして作った曲だが、いまだその気配はない。

いつも、笑顔で

作詞・作曲：広田聡美

ああ…夕やけが 町を染めあげて

子どもたちは競い 家路を駆けていく

ああ…あたたかな手をつないだなら

歩きなれた道を ふたりで歩き出そう

ひとつ またひとつ明かり灯る

町が見えてくれば ホラ

「おかえり」と「ただいま」 笑顔こぼれおちる

君が寒さにふるえる時は

そっと肩を抱き寄せて あたためるよ

だから いつも いつでも

笑顔でそばにいて

ああ…朝やけが 町を照らし出す

寝ぼけまなこのまま 君はあくびをする

ああ…ひんやりとした町を離れ

見なれた景色 背に ゆっくり歩き出そう

どこか遠く離れても

君を もっとそばに感じるよ

いつもいつも そばにいてくれてアリガトウ

君が何かにおびえる時は

そっと肩を抱き寄せて はげますから

だから いつもいつでも 笑顔でそばにいて

いつもいつまでも いっしょにいたいから

君が何かにおびえる時は

そっと肩を抱き寄せて はげますから

だから いつもいつでも

笑顔でそばにいて

いつかいつの日か

素顔のままの 君を見たいから

いつの日か君と

作詞：広田聡美

作曲：広田知紀

いつものベンチ。

肩を寄せ、いつもの空を見上げてる。

なぜだろう？

いつもと同じ朝日が、

いつもと少し違う顔して僕らを見つめてる。

そんな気がして僕は目をこらしたんだ。

見えるかな？ 見えるかな？

いつものベンチ。

肩を寄せ、いつもの空を見上げてる。

朝日がいつもと違うなんてさ、感じて

落ち着かずにいたのは、

僕らがいつもとは違う言葉を

交わしていたからなんだ。

聞かせてよ。聞かせてよ。

また会う約束はせずに、

いつもの駅で別れよう。

いつか僕ら会えたなら、

いつものベンチで肩を寄せて話そう。

僕らがそれぞれに

歩いた道の先で見た景色(ゆめ)の話。

いつかまた。いつかまた…。

曲ができて娘に説明した詩を作る状況設定は、

夢しか話さない男と現実しか見えない女…

かみ合うわけがないが、

さてどんな曲になったのか…

思った以上にきっちり書いてくれた。

今回収録した曲の中で一番難しかった。

娘の曲は総じて歌いにくいがこの曲は特に音域も広くて、音を取りづらいところがある。もう少しうまく歌えればいいのだけれども…



さよならのしずく

作詞・作曲：広田聡美

とおくかすんで見える町並み。  
行き交う人の声が聞こえてきた。  
となりを歩くあなたの顔は、ほんの少しさびしそうに見えた。  
  
なすべきことはわかっていたんだ。  
それでもこわくて、迷いを感じて逃げ出しそうなときは、  
いつでもあなたがそばにいた。

あなたと出会い、旅したことで  
私は強くなれたのかな？  
別れはつらく、さびしいけれど  
笑顔であなたに手を振ろう。

失くしたものは大きいけれど、  
同じぐらい、大事なものを得た。

あなたへの  
伝えきれないほどのたくさんの言葉が  
あふれて、こぼれた。

今だけはただ歩き続けて、振り返らずにいてください。  
あなたにだけは涙を見せず、笑顔でいたいと思うから。

あなたと出会い、旅したことで  
私は強くなれたのかな？  
別れはつらく、さびしいけれど  
笑顔であなたに手を振ろう。

あなたとふたり、旅した日々を  
私は忘れはしません。

「いつの日か君と」ができた後に娘からもらった曲。

「いつの日か君と」における別れに対するアンサーソングかと思ったがどうもそうではないらしい。ゲーム音楽のエンディング用で、主人公と一緒に旅をしてきた父親代わりの男性との別れの曲。

たそがれ

作詞・作曲 広田知紀

海を見下ろす 丘に座って  
沈んでいく夕陽を 見続けている  
歩き続けた 自分の道が  
正しかったと今は 信じていたい

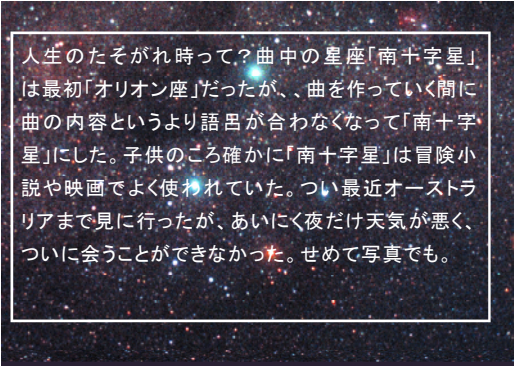
暮れゆく 光の中  
今感じてる 確かなのは  
今が一番 輝いてること

迷い続けた いくつもの道  
選ばなかった路に 戻りはしない  
たとえその先に もっと輝く  
自分がいたとしても 後悔しない

僕には 今が一番輝いてると  
信じ続けること、  
言い切れることが大切なんだ

澄み切った空 やわらかな風  
きらめく星たちに 身をゆだねよう  
やっと出会えた 憧れていた  
南十字星に 今見守られ

静かに 目を閉じよう  
誰かの声が 聞こえてくる  
とおくからね かすかだけれど



人生のたそがれ時って？曲中の星座「南十字星」は最初「オリオン座」だったが、曲を作っていく間に曲の内容というより語呂が合わなくなって「南十字星」にした。子供のころ確かに「南十字星」は冒険小説や映画でよく使われていた。つい最近オーストラリアまで見に行ったが、あいにく夜だけ天気が悪く、ついに会うことができなかった。せめて写真でも。

未来

作詞・作曲：広田聡美

僕ら 子どものころからひたすら走りつづけてたけど  
目のまえの道はいつも 果てしなくつづいて見えたよね？

何気なくふり返れば  
僕らが走り終えた道が見える  
めざすべきの場所が まだ 遠くて  
かすんだように見えるだけでも  
かならずその場所たどり着く日まで  
走りつづけよう  
あの丘をこえ 広がる空には星の橋をかけて  
どこまでもつづく世界へ

僕ら 気づかないうちにかたくなな心に縛られて  
何かにおびえるように立ち止まるが増えたみたいだ

何気なくふり返れば  
僕らが走り終えた道が見える  
めざすべきの場所が まだ 遠くて  
かすんだように見えるだけでも  
かならずその場所 たどり着く日まで  
走りつづけよう  
あの丘をこえ 広がる海には虹の橋をかけて  
どこまでもつづく世界へ

いつか疲れて座りこむこともあるだろう  
だけど それでも  
明日(あす)の僕らは走りつづけてる  
だからまだ行けるはずさ この道の先へ  
走りつづけよう  
あの丘をこえ 広がる空には星の橋をかけて  
どこまでもつづく世界へ  
行こうよ  
未来へ どこまでも

コンサートは終わった

作詞・作曲：広田知紀

今、コンサートが終わり  
家路につくあなたを  
優しいメロディーで つつんであげよう  
またいつの日か あなたに会える日まで  
さようなら さようなら さようなら

様々な思いを胸に  
家路につくあなたを  
ささやかな幸せにつつんであげよう  
またいつの日か あなたに会える日を  
これからの 私の 夢にする

またいつの日か あなたに会える日まで  
さようなら さようなら さようなら

未来

たぶん娘が高校生のころに作った曲。初めてこの曲を聞いたときから気に入っていた曲。自分の声質には合わないと思っていたが、とりあえずやってみようということで収録決定。

アレンジはかなり苦労した。娘のアレンジにかなり手を加えた。一番苦労したのはコード付け。娘はアレンジもコード進行という概念がないし、そもそも娘の曲にはコードが付いていない。歌も最初はかなり歌いづらく娘からはかなりダメ出しをくった。

コンサートは終わった

収録曲の中で一番古い曲。24歳のころに作った。フォークグループ「ORO」のファーストコンサートの最後の曲として作った。そのコンサートの時の録音は「Memories」に収録。当時は歌詞は1番だけ。2番は後日補筆。

Disk 1 たそがれ

海の向こうへ	作詞・作曲：広田聡美
Fly High!	作詞・作曲：広田知紀
きままに	作詞・作曲：広田聡美
思い出にありがとう	作詞・作曲：広田知紀
いつも笑顔で	作詞・作曲：広田聡美
いつの日か君と	作詞：広田聡美 作曲：広田知紀
さよならのしずく	作詞・作曲：広田聡美
たそがれ	作詞・作曲：広田知紀
未来	作詞・作曲：広田聡美
コンサートは終わった	作詞・作曲：広田知紀

Disk 2 Memories

1. Yesterday ～ 置き忘れられたもの達
2. かくれんぼ
3. 1975年”ORO”ライブより  
    みのむしさん～ひらひら
4. ちっちゃな恋
5. 東へ西へ
6. 情緒不安定の日
7. 眠らないで
8. さよなら～コンサートは終わった
9. Fly High! エレクトーン版
- 10 忘れな草のきまぐれ
- 11 旅に出よう

広田知紀 [tom1508@gold.ocn.ne.jp](mailto:tom1508@gold.ocn.ne.jp)

〒523-0815

近江八幡市若葉町2-1812-24

## Memories 補足

本当に短い活動期間だったが、一応フォークグループとしての活動を行っていた時期があった。これはその時の思い出達。

### Yesterday ～ 置き忘れられたもの達

結婚前の正月、半日かけて6曲を録音。一発どり。「置き忘れられたもの達」は前日に作曲。歌詞は今となっては誰の歌詞かわからない。たぶん何かの詩集からとったもの。「Yesterday」は、急に思い立って6曲も録音したきっかけが、何か思い出の記録として残しておこうと思ったためで、どうしてもアルバムタイトルを「昨日たち」といった意味合いにしたいと、1曲目として題名だけで選んだ。手元にあった雑誌に楽譜が載っていたので何も考えず初見で録音。1か所だけ間違いをごまかすために楽譜と違う箇所がある。たぶん誰もわからないと思うけど・・・

### かくれんぼ

この曲の歌詞も詩集からとったものと思われる。このころはあまり自分で歌詞を作っていない。

### 3. 1975年”ORO”ライブより

#### みのむしさん～ひらひら

初ライブから。まだフォークギターに慣れていなくて、みのむしさんはコードストロークとカッティングの練習のために作った曲。歌詞は訳があって作詞者名は伏せておく。「ひらひら」は吉田拓郎の曲。レコードコピーに近い。自分は伴奏だけでしかもフィンガーピッキングなのでかなり暇だった記憶がある。早くなるのを抑えるのに苦労した。

### 4. ちっちゃな恋

簡単な曲だが結構気に入っていた。歌詞はこれも訳ありで。

### 5. 東へ西へ

井上陽水の曲。伴奏はあまり聞き取れないかもしれないが結構難しいことをしている。最後に大きなミスをしているが本人は全く気が付いていなかった。相方がよくついてくれたものだと思っている。

### 6. 情緒不安定の日

歌詞を間違えていて作詞者からお目玉を食らった。伴奏パターンとコード進行を考えるのに苦労した記憶がある。

### 7. 眠らないで

歌詞は例によって詩集からとったもの。ハーモニカの間奏が少ししつこい。伴奏パ

ターンはもう少し考えたかったけど。

### 8. さよなら～コンサートは終わった

「さよなら」は自分が歌うきっかけを作ってくれた人が作った曲で、歌詞はこれも事情があって伏せておく。伴奏パターンが最後まで決まらず結局舞台の上でもまだ考えていた。即興に近い。最後のコードを抑えきれなかったのが残念。「コンサートは終わった」は「たそがれ」の最後の曲に選んだが、ライブをやると決めたときに最後の曲として作った。ライブでは一番歌詞のみだった。結構気に入った曲だった。

### 9. Fly High! エレクトーン版

「たそがれ」の2番目の曲で、たそがれの曲説明でも書いたが、以前勤めていた会社のキャンペーンソング。応募した時はギターで弾き語りだったが、社内募集したバンドの編曲を考える参考にしたくて、知人の紹介で楽器屋さんの音楽教室の講師の方をお願いして体験レッスンの形で45分間の間にアレンジをしてもらい最後に録音もしてもらった。かなりゆっくりの演奏だがこれはこれで気に入っている。

### 10 忘れな草のきまぐれ

「置き忘れられたもの達」と同じ日に作った曲だが、この録音1回きりでそれ以降

も歌った記憶がない。

### 11 旅に出よう

2回目のライブのために作った曲。2回目のライブも20曲近く歌ったが残念ながら

録音はこの曲しか残っていない。



Special thanks to Tamotsu Nasu, Ritsuko Kawakami

Satomi Hirota

All songs written by Tomoki Hirota & Satomi Hirota

All songs arranged by Tomoki Hirota & Satomi Hirota

Vocal : Tomoki Hirota

使用機器一覧

アレンジ & 録音 CD作成用

Fujitsu FMV DESKPOWER CE/D50

SONY VAIO

Singer Song Writer Lite 7

Sound it! 6.0 premium / Sound Forge Pro V10

Roland SD-50、Boss BR-800

SHURE SM58、Boss VE-20 Vocal Performer

再生確認用

DENON DCD-CX3

DENON PMA-CX3

B&W CM5 / Audio-technica ATH-SX1a

SONY